

# TECHNICAL DATA

塗装仕様	水性セラミック配合 アクリルシリコン樹脂断熱塗料
製品名	ガイナ

下塗材： 2液変性エポキシ樹脂下塗材  
「ガイナメタルプライマーⅡ」

第3版 作成日：2021年 5月 13日

NISSIN SANGYO CO., LTD.  
**株式会社 日進産業**

# 施工仕様書

塗装仕様：水性セラミック配合アクリルシリコン樹脂断熱塗料

製品名：ガイナ

適応下地：鉄部、アルミニウム、ステンレス、ガルバニウム鋼板、亜鉛メッキ鋼板 等

## 1. 工程表

【鉄部、アルミニウム、ステンレス等の場合】

(23℃)

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間 (hr)	所要量
素地調整	ミルスケール、ほこり、油脂分などは入念に除去し、乾燥した清浄な面としてください。さびや粉化物はサンドペーパーやディスクサンダー等の電動工具を用いて除去してください。				
下塗り	ガイナメタルプライマーⅡ 主 材：14.4kg 硬化剤：1.6kg ガイナ下塗り専用シンナー ：0.8～2.4L	はけ・ウールローラー エアレスプレー 等	1	4以上 7日以内	94～114㎡/16kgセット 0.14～0.17kg/㎡
上塗り	ウールローラー仕上げ ガイナ 主 材：14kg 清 水：0～1.5L	はけ・ウールローラー	2	3以上	30～35㎡/14kg 0.40～0.46kg/㎡
	吹付フラット仕上げ ガイナ 主 材：14kg 清 水：0～3.0L	エアレスプレー	2	3以上	30～35㎡/14kg 0.40～0.46kg/㎡
	砂骨ローラー仕上げ ガイナ 主 材：14kg 清 水：0～1.5L	砂骨ローラー 極細目	2	3以上	30～35㎡/14kg 0.40～0.46kg/㎡

注1 施工用具・条件は代表的なものです。

注2 間隔時間・所要量の値は標準的なものです。施工方法・器具、被塗物の形状、素地の状態、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

注3 所要量の確認は塗見本との比較または単位面積当たりの使用量で確認してください。

注4 下塗材の可使時間は5時間(23℃)です。

注5 カビの発生が危惧される場所、防カビ・抗菌対策が要求される施設等については、防カビ・抗菌性能を高めた「防カビ抗菌仕様」を使用してください。

「防カビ抗菌仕様」は、各ガイナに専用の抗菌防カビ剤（14kg用：280g、7kg用：140g）を入れ、よく攪拌して使用してください。

## 2. 材料荷姿

下塗材：ガイナメタルプライマーⅡ	16kgセット 主 材	NET：14.4kg/缶
	硬化剤	NET：1.6kg/缶
上塗材：ガイナ		NET：14kg/缶

### 3. 施工要領

#### 3-1. 素地調整

- ミルスケール、ほこり、油脂分などは入念に除去し、乾燥した清浄な面としてください。
- さびや粉化物はサンドペーパーやディスクサンダー等の電動工具を用いて除去してください。
- 旧塗膜に浮き、剥がれなど劣化部や脆弱部がある場合は、サンダーや皮スキなどで除去してください。

#### 3-2. 材料の混ぜ合わせ

##### 下塗材

- 材料は主材と硬化剤を指定の割合で混ぜ合わせてください。
- 使用する1回の練り混ぜ量は可使時間内に使用できる量にしてください。
- 指定の希釈材、指定の希釈量を守り、均一に薄めてください。

##### 上塗材

- 使用前に指定の希釈材、指定の希釈量を守り、均一に薄めてください。

#### 3-3. 施工

##### 下塗り

- 下塗りは、だれ、塗り残しのないように塗り付けてください。

##### 上塗り

- 上塗りは、色むら、だれ、仕上りむらのないように均一に塗り付けてください。
- 上塗材の希釈率は試験塗りなどにより決定し、それ以降は同一の希釈率で使用してください。希釈率は色相及び施工時の気温により変化します。
- ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。
- ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることが有ります。
- 希釈や温度、湿度の影響により変色する場合があります。

# 成分表

下塗材：ガイナメタルプライマーⅡ

《主 材》

内 容	重 量 (%)
エポキシ樹脂ワニス	30.0
着色顔料	54.0
添加剤	3.3
溶剤	12.7
計	100.0

《硬化剤》

内 容	重 量 (%)
変性脂肪族ポリアミン	26.0
添加剤	14.0
溶剤	60.0
計	100.0

# 性能試験成績書

塗装仕様	2液変性エポキシ樹脂下塗材	
製品名	ガイナメタルプライマーⅡ	
試験方法	JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー	
	試験項目	結果
容器の中での状態	主材・硬化剤ともかき混ぜたとき、 堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
乾燥時間(h)	16以内	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
ポットライフ	5時間で使用できるものとする。	合格
耐衝撃性	衝撃による変形で、塗膜に割れ、 はがれができないものとする。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格
耐塩水性	塩化ナトリウム溶液に浸しても異常があっては ならない。	合格
—以下余白—		

\* 上記数値は代表値であり、製品の数値等を保証するものではありません。あらかじめご了承下さい。

# 施工上の注意事項

## 《下地》

- 旧塗膜の浮き・剥がれ・チョーキング層等は除去してから施工してください。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤などで殺菌洗浄を行ってください。

## 《環境》

- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、（高湿度、結露、降雨等）塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないでください。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないでください。
- 外部施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないでください。
- 絶えず結露が発生するような部位、場所への塗装はしないでください。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止してください。
- 塗装面が高温（50℃以上）の場合、仕上がり、物性に不具合が発生することがありますので施工を避けてください。
- 施工後、翌日までに降雨の心配がある場合は、施工を避けてください。（塗装後3～5時間ぐらひは、絶対に雨に合わないようになしてください。）
- 山間部や夜露の早く降りる地域では早く塗装を終えて、十分な乾燥時間を確保してください。
- 内部施工時は換気を十分に行ってください。

## 《施工》

- 施工時は飛散防止として養生は十分に行ってください。
- 施工面とその周辺（車や付帯設備を含む）や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行ってください。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにしてください。
- 塗料は、均一にミキサーで攪拌してから使用してください。
- 材料の希釈量は、所定の希釈量範囲内、所定の所要量で事前に試験塗りなどを行わない決定してください。希釈の過多、不足はダレや隠ぺい不足、仕上がりムラの原因になります。
- 各種施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工し、適正な塗付量を確保してください。
- 色、模様決定に当たっては事前に見本板で確認してください。
- 被塗物の形状、膜厚、施工器具、塗回数、希釈量などの違いにより、実際の仕上りが見本板と異なって見える場合があります。試し塗りの上、本施工してください。
- 傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修してください。
- 他の材料と混合して使用しないでください。
- 水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用してください。
- 使用後は塗装器具を十分に洗浄してください。

- 溶剤形の製品を取り扱う場合には、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
- 改修工事の場合、下地を侵し既存塗膜に膨れ・縮み（リフティング）などの異常が発生することがあります。事前に試し塗りをを行い確認してください。  
既存下地が塗料用シンナーで容易に溶解する場合、縮みや膨れが発生する恐れがあるため、塗装は避けてください。

#### 《材 料》

- 刷毛塗りとローラー塗り、スプレー塗りが混在する場合、施工方法の違いで若干の色相差が生じます。希釈量を調整するなどして塗装してください。
- 希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。  
希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにしてください。
- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行ってください。
- 施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかった状態になると、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。

#### 《保 管》

- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないでください。

#### 安全衛生上の注意事項

- 製品の取扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート：旧MSDS)を参照してください。
- 取扱い後は手洗い、うがいを十分に行なってください。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒・防塵マスクなどを着用してください。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けてください。
- エポキシ樹脂系の材料は、皮膚にかぶれを引き起こす恐れがあります。  
皮膚に付着しないよう特に注意してください。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹼で洗ってください。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、診断を受けてください。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて医師のください。
- 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
- 開封後、やむを得ず保管する場合は無希釈の状態に密栓して冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないでください。
- 子供の手の届かない所に保管してください。

- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処理してください。

\* 本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。

施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようしてください。